

やぶなべ

青森県立青森高等学校生物部 発行

誌名	やぶなべ
号/発行年/頁	6 / 1960 / 31-33
タイトル	鳶周辺の各沼のミジンコの種類調査
著者名	森慎吾

自然を見つめる やぶなべ会 (青森)

鳶周辺の各沼のミジンコの種類調査

2年 森 慎 吾

今回の調査は去年まで先輩の行っていた、「アラクトンの日周活動調査」を改めて、鳶沼のミジンコ種類調査という形として行ったが見事失敗である。失敗の原因はいろいろとあるが、何としてるノ番の原因はミジンコの量の少なかつた事である。ミジンコの種類を調べるのにはなるべく多くのミジンコを採集しなければならなかつたのだがどうゆうわけか去年までとれていたのよりは今回の調査では全く少なかつたのである。その原因は、はじめの計画が思うようにゆかなかつた事である。調査期間中のノ週間はほとんど翌日雨にふられ思うように採集ができなかつたし、なお悪い事には全員「うるし」にかぶれて水に入る事が出来なかつたばかりか、動くのも不自由になる

人も出るしまつである。それ以前もつた調査の場所の下調べをしていなかったので沼全体の状態がわからなくこれによって実際その場所に行つて見てからその沼の採取方法を変えなければならなかつた場所もありその変えた採取方法も急に変えたもので臨時方法というようなものであるから沼全体のミジンコをとることが出来なかつたであろうと思う。

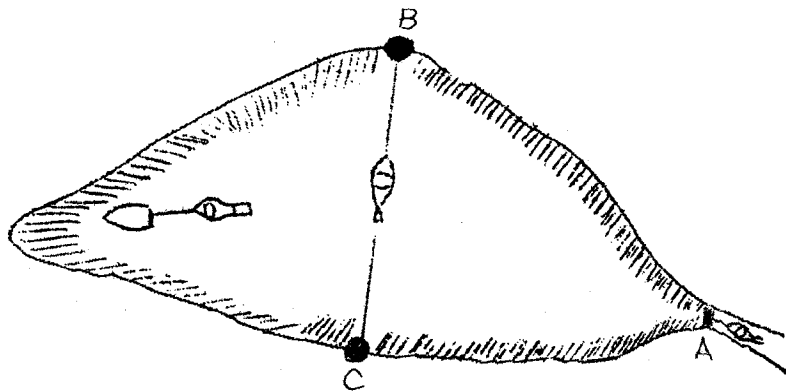
調査方法をあらかじめ知つていた事、つまり前にも行つた事があるのだが水温を測る時は水面下4メートルぐらいまでは潜つて水を採つてきて測らうと思つていたのであるが、前の予想に全く反して水面では22°~15°であるのが1m下がることに約3°~5°位ずつ下がつていたのである。これでは潜るなどする事は全く出来ないこのような事から今回の調査は失敗し結論的なものはなにも言えないがこの調査によって調査とはどうゆうものか調査の方法が自分には小じではあるがわかつたと思う。

参考として大体の調査法をあけておこう。

○ 調査使用器具

- 試験管(コルク栓付、小50本)
- 顕微鏡
- プランクトンネット
- ロープ
- ピペット
- 温度計
- PH測定紙
- 採葉びん
- ホルマリン
- アルコール

図



● 調査方法

- ① 沼から流れ出る川の河口（図ではAのような場所）にプランクトンネットをかけて採集。
- ② 沼の岸をネットを引き歩いて採集。
- ③ 1人が沼の岸（図ではB）に立ちもう1人が反対側の岸に立ちネットにロープをつけたものをどちらかの人がネットのコックを調節しもう1人の人がロープを引っ張り採集。
- ④ ボートを使用し水平又は垂直にネットを動かして採集。

（調査内容は種類を調べる事が主で、出来るだけなら水温、pHによってミジンコの数がどのように変わるかを調べようと思っていたので、なるべく多くの場所を前に述べたような4種類の方法で採集しました。）